



2026年4月14日

各 位

会 社 名 ホリイフードサービス株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤田 明久
(コード番号 3077 STANDARD)
問合せ先 取締役統括本部長 大貫 春樹
電 話 (029) 233-5825

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関するお知らせ

記

当社は、本日開催の取締役会において、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた当社グループの対応」において、現状分析と今後の成長方針に関する説明資料を作成しましたのでお知らせいたします。詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照ください。

以 上

2026年11月期

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

Stock Code

3077

時代の変化を、次代の文化に。

 **ホリイフードサービス株式会社**

Horiifoodservice Co.,Ltd.

**Action to Implement Management
that is Conscious of Cost of Capital
and Stock Price**

資本コストや株価を意識した経営の実現にむけた分析指標と目標

現状分析

時価総額
38.67 億円

株価
558 円

EPS
59 円

PER
9.52 倍

PBR
3.59 倍

【2028年11月期までの目標】時価総額200億円の実現へ

時価総額
200 億円

株価
2,000～3,000 円

EPS
100～150 円

PER
20～30 倍

PBR
高ROIC・高ROE維持により高水準継続

現在の高いROIC（11.95%）を基盤とした価値創出力を維持・向上させることが、PER正常化と企業価値向上の最大のドライバーとなります

※現状数値は2026年2月末時点

※目標株価2,000～3,000円の算定根拠：目標EPS 100～150円 × 目標PER 20～30倍

※目標PER 20～30倍の前提：高ROIC（11.95%）維持・向上を通じたPERリレーティング実現

※目標PBR：ROE 30%以上維持の前提で、PBR = PER × ROE の関係により高水準を継続

課題 | 高収益×低PER＝評価の歪み

資本効率

$$\begin{array}{ccccccc} \text{ROIC} & & & \text{WACC} & & & \\ 11.95\% & > & & 5.80\% & = & & +6.15\% \end{array}$$

→ ROICはWACCを上回り価値創出状態

良好

想定要因

収益の継続性が課題
高いROICの持続性に対する不透明感

市場評価

PBR

3.59倍
(>1)

成長期待は織り込み済み

PER

9.52倍
(<同業ベンチマーク企業平均)

成長の持続性に評価不足

評価の歪み分析と解消ポテンシャル

現状の評価 (PER)

9.52倍

約+184%

→

同業ベンチマーク企業平均

27.0倍

ギャップの本質

ROICの持続性および成長性に対する不透明感
高い資本効率にも関わらず、市場評価が追いついていない状態

今後の取り組み

ROICの持続性と成長戦略の再現性を市場に適切に伝え、
外食業界特有のディスカウントを払拭することで
PERの正常化（リレーティング）を目指す

成長方針 | 4つの成長ドライバー

① 店舗展開の加速

インバウンド強化

- 主力1業態：予約率90%
- 空中階モデルへの挑戦
- 成功時の出店加速余地大

② 既存事業の安定成長

高収益店舗展開

- 業務効率化によるコスト削減
- 顧客満足度向上施策の実行
- サービス価値向上による客単価アップ

③ 規模の拡大

M&Aロールアップ

- 同業・周辺領域の取得
- 規模拡大と収益改善の同時実現
- 非連続成長の中核戦略

④ 市場の拡大

新規エリア進出

- 北関東中心から西日本へ展開
- M&A活用による迅速な進出
- 全国的なブランド認知の向上
- 海外への進出

PER水準（同業ベンチマーク企業比較） | PER × PBR 散布図によるポジショニング

現状の当社PER

9.52 倍

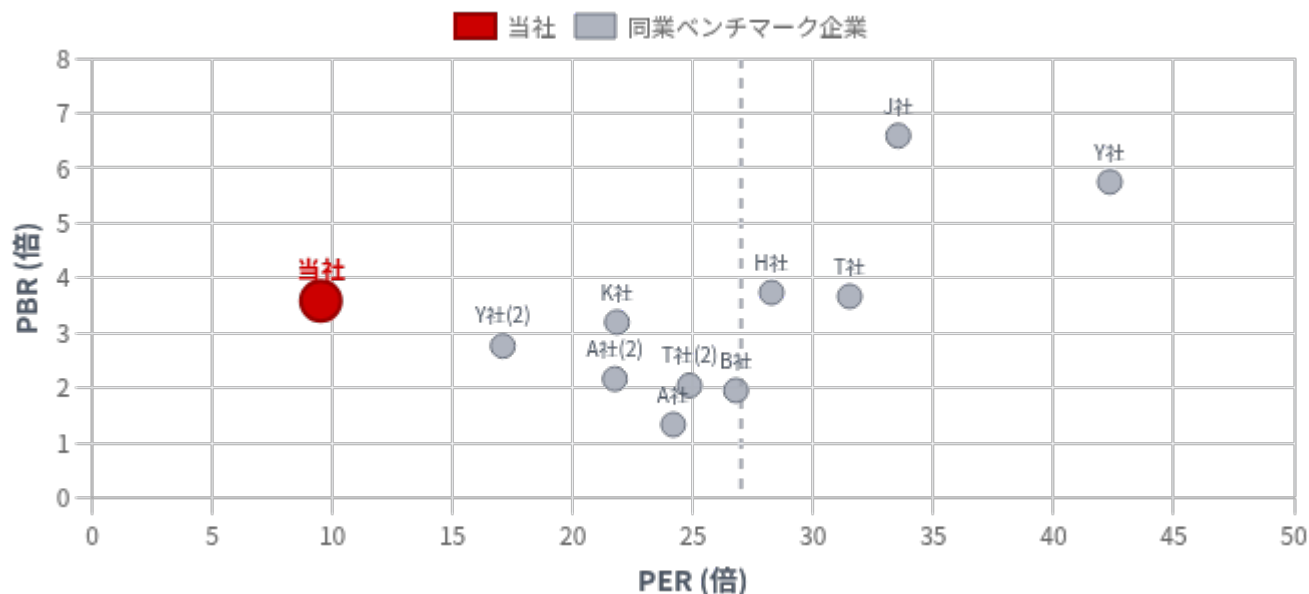
同業ベンチマーク企業PER中央値

27.0 倍

当社 ROIC / ROE

11.9% / 39.4%

同業ベンチマーク企業 PER × PBR 散布図



主要同業ベンチマーク企業比較

企業	市場	PER (倍)	PBR (倍)	ROE (%)
当社	スタンダード	9.52	3.59	39.38
Y社	プライム	42.34	5.75	22.68
J社	グロース	33.54	6.59	26.50
T社	スタンダード	31.52	3.67	19.34
H社	プライム	28.27	3.74	16.51
B社	スタンダード	26.79	1.96	9.25
T社(2)	スタンダード	24.86	2.05	10.12
A社	プライム	24.18	1.34	6.58
K社	スタンダード	21.84	3.20	15.42
A社(2)	スタンダード	21.75	2.17	12.08
Y社(2)	スタンダード	17.09	2.77	18.45

※当社数値は2026年2月末時点。同業ベンチマーク企業も2026年2月末時点の株価および直近決算ベース

※同業ベンチマーク企業の選定基準：当社の目標時価総額（200億円規模）を見据え、時価総額200億円前後の同業ベンチマーク企業を選定しています。

まとめ・投資ストーリー

STEP
1

現状の評価ギャップ

「高いROICにより既に価値創出は実現しているものの、その持続性および成長戦略の再現性に対する認識不足により、企業価値が市場に十分反映されていない状態」



STEP 2 改善ドライバー（解消に向けた取り組み）

① 資本効率の可視化

ROICおよび関連KPIの継続開示
セグメント別収益性の明確化

② 成長の再現性の証明

M&A後の収益改善事例の開示
高収益モデル（インバウンド・空中階）の横展開

③ コミットメントの明確化

ROIC水準の維持・向上方針の明示
EPS成長に対する継続的な目標提示



STEP
3

企業価値向上の着地イメージ

これらの取り組みを通じて、M&Aおよび成長投資によりROICを維持・向上させながらEPS成長を加速し、PERの正常化を実現することで、時価総額200億円規模への企業価値向上を達成します

Appendix

Appendix

資本効率

ROIC (投下資本利益率)

11.95%

WACC 5.80%

ROIC - WACC +6.15%

価値創出状態

ROIC > WACC

※投下資本に対する効率性を重視した指標

資本構成

E比率 (株主資本)

72.05%

D比率 (有利子負債)

27.95%

資本コスト内訳

株主資本コスト 5.39%

税後負債コスト 0.82%

最適な資本構成

市場評価

PER

9.52倍

PBR

3.59倍

時価データ (2026年2月末)

時価総額 38.7億円

1株あたり株価 558円

ROICの持続性・成長性に対する評価不足

※ 数値は2026年2月末時点

※ ROE (39.38%) がROIC (12.12%) を上回るのは、財務レバレッジ (D/E比率38.8%) が効いているため。ROICは事業の真の収益力を示す指標です。